

## 2011年度明治大学農学部一般選抜入学試験に関わるお知らせ

2月15日に実施しました農学部一般選抜入学試験において、「国語」「政治・経済」「世界史B」「日本史B」の問題に不備があることが判明しましたのでお知らせします。大変ご迷惑をおかけしました。心よりお詫び申し上げます。

### 1 試験日

2011年2月15日（火）

### 2 試験科目「国語」

#### (1) 内容

問題冊子P. 6 問題(一)問四は、適切な選択肢がありませんでした。

#### (2) 対応措置

当該設問については、全員正解とします。

### 3 試験科目「政治・経済」

#### (1) 内容

問題冊子P. 71～72 問題〔Ⅲ〕の文章に不備があったため、問26に適切な解答がありません。

#### (2) 対応措置

当該設問については、全員正解とします。

### 4 試験科目「世界史B」

#### (1) ①内容

問題冊子P. 4 問題〔I〕問7の選択肢の文章に誤植がありました。

#### ②対応措置

当該設問については、正解を複数とします。

#### (2) ①内容

問題冊子P. 20 問題〔V〕問10の文章に誤植がありました。

#### ②対応措置

正答に影響しませんので、特別な措置は講じません。

### 5 試験科目「日本史B」

#### (1) ①内容

問題冊子P. 27～28 問題〔Ⅱ〕2の文章に不備があったため、問8

を解答することができません。

②対応措置

当該設問については、全員正解とします。

(2) ①内 容

問題冊子P. 28 問題〔Ⅱ〕問9の選択肢に不備がありました。

②対応措置

当該設問については、正解を複数とします。

(3) ①内 容

問題冊子P. 31 問題〔Ⅲ〕2の文章に誤植がありました。

②対応措置

正答に影響しませんので、特別な措置は講じません。

(4) ①内 容

問題冊子P. 34 問題〔Ⅳ〕問4の選択肢に不備がありました。

②対応措置

当該設問については、正解を複数とします。

(5) ①内 容

問題冊子P. 37～38 問題〔Ⅴ〕2の文章に不備があったため、問2の解答番号42を解答することができません。

②対応措置

当該設問の解答番号42については、全員正解とします。



以 上

2011年2月17日  
明治大学農学部

## 地理歴史・公民(世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済)問題

はじめに、これを読みなさい。

1. これは、世界史B, 日本史B, 地理B, 政治・経済の4科目の問題を綴じた冊子である。必要な科目を選択して解答しなさい。
2. 問題は全部で78ページある。ただし、ページ番号のない白紙はページ数に含まない。
3. 解答用紙に印刷されている受験番号が正しいかどうか、受験票と照合して確認すること。
4. 監督者の指示にしたがい、解答用紙の氏名欄に氏名を記入すること。
5. 監督者の指示にしたがい、解答用紙にある「解答科目マーク欄」に1つマークし、「解答科目名」記入欄に解答する科目名を記入しなさい。なお、マークしていない場合、または複数の科目にマークした場合は0点となる。
6. 解答は、すべて解答用紙の所定欄にマークするか、または記入すること。所定欄以外のところには何も記入しないこと。解答番号は各科目の最初に示してある。
7. 問題に指定された数より多くマークしないこと。
8. 解答は、必ず鉛筆またはシャープペンシル(いずれもHB・黒)で記入のこと。
9. 訂正する場合は、消しゴムできれいに消し、消しくずを残さないこと。
10. 解答用紙は、絶対に汚したり折り曲げたりしないこと。
11. 解答用紙はすべて回収する。持ち帰らず、必ず提出すること。
12. この問題冊子は必ず持ち帰ること。
13. マーク記入例

良い例	悪い例
	

# 世界史 B

(解答番号 1～45, 101～105)

〔I〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

ラテン人の一派によってティベル河畔に建設された都市国家ローマは、イタリア半島を統一したのち、西方と東方に勢力を拡大し、地中海を内海とする世界帝国を建設するにいたった。古代ローマ人は、この帝国支配をとおしてギリシア・ローマの古典文化を地中海世界のすみずみにひろめた。

共和政初期のローマでは、貴族(パトリキ)が中小農民を中核とする平民(プレブス)に対して政権を独占する政治状況にあった。しかし、彼ら中小農民は、重装歩兵として国防に重要な役割をはたすようになり、貴族との同等な政治的権利をもとめて身分闘争を展開した。共和政ローマは、初期の征服戦争で全イタリア半島を制覇するとともに、三回にわたるポエニ戦争に勝利をおさめ、ついにエジプトを併合し東方のヘレニズム世界をも支配するようになった。

だが、こうした征服戦争の拡大とともに、おおくの中小農民の没落と無産市民化が進行した。市民のあいだで貧富の格差がますますひろがった結果、市民の平等を原則とするローマの都市国家としての性格は変質し、共和政の土台は大きくゆらぎだしたのである。大土地所有者の土地の没収とその無産市民への分配を企図したグラックス兄弟の改革があったものの、大地主の反対で失敗におわり、ローマは「内乱の1世紀」に突入した。

この混乱を武力によっておさめ、のちに独裁官(ディクタトル)として社会の安定化につとめたのは (1) であった。前44年 (1) の暗殺後に政治はふたたび混乱したが、オクタウィアヌスによって全地中海域は平定され内乱は終わりをつげた。前27年彼は元老院から (2) の称号を与えられ、自らは「市民のなかの第一人者」と称したが、事実上の皇帝として独裁政治をおこなった。

これが帝政時代のはじまりとなり、「ローマの平和」とよばれる空前の繁栄と平和の時代が約 200 年間つづいた。<sup>(ウ)</sup>

問 1 下線部(ア)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(1)の記号にマークしなさい。

- A ギリシアにはじまった弁論術はローマに継承され、キケロはローマ最大の弁論家といわれた。
- B 十二表法を起源とするローマ法は、「ローマ法大全」に集大成された。
- C 哲学者のセネカは、ギリシアのストア派の影響を強くうけた。
- D エピクテトスが百科全書的な知識の集大成である「博物誌」を書いた。

問 2 下線部(イ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(2)の記号にマークしなさい。

- A 当時の民会の議決は元老院の承認を得てはじめて国法として通用した。
- B 元老院は任期 10 年の貴族 300 人で構成されたが定員はのちに増加した。
- C 任期 1 年の最高官職であるコンスル(執政官)は貴族から選出された。
- D 元老院によってコンスルのなかから任命されたディクタトル(独裁官)に非常時の全権が委任された。

問 3 下線部(ウ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(3)の記号にマークしなさい。

- A 平民だけの民会である平民会が設けられた。
- B 慣習法をはじめて成文化した十二表法が制定された。
- C ホルテンシウス法によりコンスルのうち 1 名は平民から選ばれるようになった。
- D 平民保護のための官職として護民官が設置された。

問 4 下線部(エ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(4)の記号にマークしなさい。

- A ローマは前4世紀前半にイタリア半島全体を支配した。
- B イタリア半島南部にはギリシア人の都市国家があった。
- C イタリア半島北部にはエトルリア人の都市国家があった。
- D 征服された諸都市は、分割統治の方法で支配された。

問 5 下線部(オ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(5)の記号にマークしなさい。

- A ローマはフェニキア人植民市のカルタゴと西地中海の覇権をめぐって戦った。
- B シチリア島がローマの最初の属州となった。
- C カルタゴの名将ハンニバルは、カンネーの戦いでローマ軍に大打撃を与えた。
- D ローマの将軍ハドリアヌスが、ザマの戦いに大勝して第2回ポエニ戦争での勝利を決定づけた。

問 6 下線部(カ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(6)の記号にマークしなさい。

- A 貴族や上層市民による公有地の私有化や農民からの土地買占めなどで大土地所有(ラティフンディア)が形成された。
- B ラティフンディアは戦争捕虜を農業奴隷として使用した。
- C ラティフンディアでは主に穀物が生産された。
- D ラティフンディアは第2回ポエニ戦争以降急速に発達し、中小農民の没落を加速した。

問 7 下線部(キ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(7)の記号にマークしなさい。

- A 平民派のマリウスは無産市民の志願者に武器を与えて軍団に取り込む軍政改革を行った。
- B 閥族派のスラは、平民派を弾圧し、元老院と結んで無期限のディクタトルとなった。
- C イタリア半島内の同盟市がローマ市民権をもとめて反乱を起こした。
- D ポンペイウスは、スパルタクスの反乱、ミトリダテスの反乱などを鎮圧したのち、パルティア遠征で戦死した。

問 8 空欄(1)に最も適した人名を解答番号(101)に記入しなさい。

問 9 空欄(2)に最も適した称号を下から一つ選び、解答番号(8)の記号にマークしなさい。

- A インペラトル
- B プリンケプス
- C アウグストゥス
- D ノビレス

問10 下線部(ク)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(9)の記号にマークしなさい。

- A トラヤヌス帝のときにローマ帝国の領土は最大となった。
- B アントニヌス=ピウス帝はローマ帝国領内の全自由民にローマ市民権を与えた。
- C ローマ帝国はアジアから絹・香辛料などを輸入し、ガラス器・ブドウ酒・金貨などを輸出した。
- D 帝国内でローマ風の都市が多数建設され、都市文化が浸透した。

〔Ⅱ〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

ロマノフ朝は、開祖ミハイル＝ロマノフが1613年に即位して以来、1917年の三月革命(ロシア暦二月)で倒壊するまで300年あまりのながきにわたって続いた。この王朝は、農奴制を基礎とするツァーリ(ア)による専制的な政治体制を特色とした。

17世紀末に即位したピョートル1世(大帝)(イ)は、工業の育成や官僚制の整備をすすめて、絶対王制の確立をはかるとともに、自ら西欧視察を行うなどロシア社会の西欧化・近代化に努めた。18世紀後半のエカチェリーナ2世は、はじめ啓蒙専制君主として種々の改革をおこなったが、プガチョフの農民反乱の後には貴族と妥協して農奴制を強化した。ウィーン体制崩壊後に「ヨーロッパの憲兵」と評されたロシアは、クリミア戦争で惨敗し、封建的な農奴制に立脚する社会の後進的体質が明白となった。(オ) (1) は、1861年に農奴解放令を出し、農民を身分的に自由にするなど、社会の「近代化」をめざして一連の改革を推進した。(カ)

1890年代に入るとロシアでは、フランスなど西欧諸国からの資本導入が活発となり、重工業中心の産業資本主義化がめざされた。しかし、国内市場の狭いロシアは、シベリア鉄道建設などの国営事業主導で国内開発をすすめて、アジア・パルカン方面への進出を積極化した。

1905年1月の「血の日曜日事件」を発端に生じた、いわゆる第一次ロシア革命は、皇帝 (2) に十月勅令で国会(ドゥーマ)の開設を約束させた。しかし、翌年首相となった (3) は国会を無視し、専制的姿勢を強めたため改革は実現にいたらなかった。だが、第一次世界大戦の重圧と混乱のなかで1917年3月8日、首都ペトログラードで「パンと平和」を求める大規模な民衆デモやストライキがおき、改革をもとめる動きはたちまち各地にひろがった。革命的な事態が急速に進行するもて皇帝 (2) は退位し、ロマノフ朝の消滅とともに帝政はついに崩壊を迎えた。(キ)



問 1 下線部(ア)の称号に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(10)の記号にマークしなさい。

- A ロシアで最初に用いたのはミハイル = ロマノフであった。
- B イヴァン4世がはじめて正式に使用した。
- C ローマ皇帝の称号の一つであったカエサルのロシア語形である。
- D 専制を意味するツァーリズムの語源となった。

問 2 下線部(イ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(11)の記号にマークしなさい。

- A 北方戦争でスウェーデンを破りバルト海の覇者となった。
- B ペテルブルクを建設し首都をここに移した。
- C 1689年に清朝とキャフタ条約を結んだ。
- D オスマン帝国を圧迫してアゾフ海に進出した。

問 3 下線部(ウ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(12)の記号にマークしなさい。

- A オスマン帝国と戦ってクリミア半島に進出した。
- B イギリスとともにポーランド分割に参加した。
- C 黒海北岸のイスラーム教国であるクリム = ハン国を併合した。
- D 日本にラクスマンを派遣し通商をもとめた。

問 4 下線部(エ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(13)の記号にマークしなさい。

- A 産業の育成、宗教的寛容、司法改革、国民の福祉向上などをめざし「上からの改革」をすすめた。
- B ヴォルテールらの啓蒙思想家からの影響を受けた。
- C プロイセンではフリードリヒ2世がその典型である。
- D オーストリアではカール6世がその典型である。

問 5 下線部(オ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(14)の記号にマークしなさい。

- A ロシアがオスマン帝国領内のギリシア正教徒保護を口実に開戦した。
- B イギリス・フランスなどの支援を受けたオスマン帝国が勝利した。
- C オーストリアはイギリス・フランスの要請によってオスマン帝国側について参戦した。
- D パリ講和条約でロシアの南下政策がくじかれたためナポレオン 3 世の人氣が上昇した。

問 6 空欄(1)に最も適した皇帝名を解答番号(102)に記入しなさい。

問 7 下線部(カ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(15)の記号にマークしなさい。

- A 農奴に対する人格的自由の付与は有償でおこなわれた。
- B 土地の分与は有償であり、多額の「買い戻し金」が課せられた。
- C 多くの場合、土地はミール(農村共同体)に引き渡されたため、農民は長期間ミールに縛りつけられつづけた。
- D 自営農民の出現の契機となりロシア資本主義進展の出発点となった。

問 8 空欄(2)に最も適した皇帝名を下から一つ選び、解答番号(16)の記号にマークしなさい。

- A パヴェル 1 世
- B ピョートル 3 世
- C アレクセイ 3 世
- D ニコライ 2 世

問 9 空欄(3)に最も適した人名を下から一つ選び、解答番号(17)の記号にマークしなさい。

- A ストルイピン
- B プレハーノフ
- C ウィッテ(ヴィッテ)
- D マルトフ

問10 下線部(キ)に関連した説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(18)の記号にマークしなさい。

- A その後にブルジョアジーを中心とする臨時政府が成立した。
- B 臨時政府はイギリス・フランスとの関係を重視して戦争継続策をとった。
- C ケレンスキーが臨時政府首相となり大衆運動やメンシェヴィキらを弾圧した。
- D レーニンは、ソヴィエト内での勢力拡大に成功し、11月7日臨時政府を打倒し社会主義政権を樹立した。

〔Ⅲ〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

オスマン帝国は、1402年に  に敗北を喫するも、その後勢力を盛り返し、1529年にはスレイマン1世がウィーンを包囲し、ヨーロッパ諸国に大きな脅威を与えた。また、神聖ローマ帝国に対抗するために、フランスと同盟関係を結びフランス商人に居住と通商の自由を与えた。いわゆるカピチュレーションである。一方、オスマン帝国の内政は、スルタン(ア)の強大な権力を背景に安定した。(イ)

しかしながら、第2次ウィーン包囲の失敗の頃から、その権勢は徐々に下降線をたどる。18世紀から19世紀にかけて、帝国内のアラブ人の自立を求める運動(ウ)が盛んとなり、帝国の領土は縮小の一途をたどった。このころから、オスマン帝国へのヨーロッパ列強の介入が激しさを増す。たとえば、ムハンマド＝アリーは、エジプト＝トルコ戦争で2度にわたってオスマン帝国と戦い勝利したが、(エ)ヨーロッパ列強の干渉を招いた。

他方、 が、徹底した改革(タンジマート)を実施するなど、オスマン帝国内部に改革の動きが出てきた。(オ)しかしながら、このような改革でオスマン帝国の衰退を止めることはできなかった。

オスマン帝国は、第一次世界大戦に参戦して敗れ、その領土は大幅に縮小した。その後、帝国は  に指導されたトルコ革命によって崩壊した。彼は、1923年にトルコ共和国を樹立し、大統領として近代化を強力に推し進めた。(カ)

問 1 空欄(1)に最も適した語句を下から一つ選び、解答番号(19)の記号にマークしなさい。

A ティムール

B ウルグ＝ベク

C シャー＝ルフ

D フラグ

問 2 下線部(ア)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(20)の記号にマークしなさい。

- A セリム 1 世がフランスとの通商関係を深めるために与えた恩恵的措置である。
- B このような特権は、フランスだけでなく、イギリスやオランダにも与えられた。
- C これは、領事裁判権、租税免除、身体・財産などの安全保障等の一種の治外法権である。
- D オスマン帝国が衰退期を迎えると、西欧列強諸国によって侵略の手段として利用された。

問 3 下線部(イ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(21)の記号にマークしなさい。

- A オスマン帝国のスルタンは、強大な権力をもつ専制君主であり、イスラム法にもとづく政治をおこなった。
- B スルタンは、ユダヤ教徒を弾圧した。
- C スルタンの軍隊は、騎士軍団と、キリスト教徒の子弟を強制的に集めて編成したイエニチェリ軍団から構成されていた。
- D スルタンは、州・県・郡から構成される整然とした行政機構をととのえた。

問 4 下線部(ウ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(22)の記号にマークしなさい。

- A イブン=アブドゥル=ワッハーブは、「ムハンマドの教えに戻れ」とする復古主義をおこして、ワッハーブ派を開いた。
- B 18 世紀になると、ワッハーブ派は、サウード家と結んでワッハーブ王国を建設した。
- C エジプトでは、アラブのキリスト教徒知識人の間でアラブ文化の復興運動がおこった。
- D ウラービー運動は、エジプト民族主義運動の原点となった。

問 5 下線部(エ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(23)の記号にマークしなさい。

- A 第1回目のエジプト＝トルコ戦争では、オスマン帝国にはロシアが援助した。
- B 第1回目の戦いでは、イギリス・フランス・オーストリアが干渉して、ムハンマド＝アリーとオスマン帝国を和解させた。
- C 第2回目の戦いでは、ムハンマド＝アリーは、プロイセンの援助を得てオスマン帝国に大勝した。
- D ムハンマド＝アリーは、ロンドン会議でシリアの領有権を放棄させられた。

問 6 空欄(2)に最も適した語句を下から一つ選び、解答番号(24)の記号にマークしなさい。

- A マフムト2世
- B ミドハト＝パシャ
- C アブデュル＝ハミト2世
- D アブデュル＝メジト1世

問 7 下線部(オ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(25)の記号にマークしなさい。

- A タンジマートは、オスマン帝国の西欧化を目指した上からの近代化政策である。
- B ヨーロッパ工業製品の流入を招き、土着産業の没落を引き起こした。
- C 1876年には、アジアで初めての憲法であるミドハト憲法が制定された。
- D ミドハト憲法は、トルコ革命まで機能し、トルコ近代化の基盤を成した。

問 8 空欄(3)に最も適した人名を解答番号(103)に記入しなさい。

問 9 下線部(カ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(26)の記号にマークしなさい。

- A 1920年にアンカラでトルコ大国民議会が開催され、アンカラ政府が樹立された。
- B 1923年に連合国とローザンヌ条約を結んで、新国境を定め独立を維持した。
- C ローザンヌ条約では、治外法権を廃止させたが、関税自主権の回復には成功しなかった。
- D スルタン制を廃止して、1923年にトルコ共和国を樹立した。

問10 下線部(キ)に関連し、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(27)の記号にマークしなさい。

- A 1924年に共和国憲法を發布した。
- B 複数政党制が導入され、民主化が進んだ。
- C アラビア文字にかわってローマ字を採用するなど、脱イスラーム化を進めた。
- D カリフ制を廃止し、政教分離を推進した。

〔IV〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

コロンブスは、1492年に「インド」に向けて出航し、バハマ諸島に到着した。この頃からいわゆる大航海時代が本格化し、ヨーロッパ諸国は積極的に対外進出を企てた。<sup>(ア)</sup>

その後、スペイン王室は武力でアメリカ大陸の征服に乗り出した。1521年のアステカ王国の滅亡に続き、1533年には、がインカ帝国を滅亡に追い込んだ。影響は政治・軍事にとどまらない。1545年には、ポトシ銀山が発見され、大量の銀がヨーロッパに流入し、ヨーロッパ経済に大きな影響を与えた。<sup>(イ)</sup>

19世紀に入るとラテンアメリカで独立運動が活発となる。その中心的人物の一人がシモン＝ボリバルである。彼は1810年以降ラテンアメリカ諸国の独立運動に積極的に参加した。<sup>(ウ)</sup>メキシコも1821年に独立を達成すると、1860年代にはフランス軍に抵抗し、撤退させた。その後、が大統領に就任し、長期間にわたって独裁政治を展開したために、1910年にメキシコ革命が勃発した。<sup>(エ)</sup>

19世紀後半になると、アメリカは積極的な対外進出を試みるようになった。1889年にアメリカは、パン＝アメリカ会議を主催し、ラテンアメリカ諸国との協力関係を築くことに努めた。1898年にアメリカはアメリカ＝スペイン戦争に勝利して海外進出に乗り出すが、これがカリブ海諸国への干渉の始まりである。その後もアメリカは干渉を深めていった。<sup>(オ)</sup>

第二次世界大戦後、中南米において自立をめざす運動が活発となる。その代表ともいえるのがキューバで、1959年に親米的な独裁政権が打倒され、をリーダーとする革命政権が樹立された。

問1 下線部(ア)に関連する説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(㉞)の記号にマークしなさい。

- A 1488年に、ヴァスコ＝ダ＝ガマが喜望峰に達した。
- B 1498年に、バルトロメウ＝ディアスがインド西岸のカリカットに到着した。
- C 1521年に、マゼランは太平洋を横断してフィリピンに到着した。
- D スペイン人のカブラルが西航してブラジルに漂着した。



問 2 空欄(1)に最も適した語句を下から一つ選び、解答番号(29)の記号にマークしなさい。

- A ピサロ
- B コルテス
- C ラス=カサス
- D アメリゴ=ヴェスプッチ

問 3 下線部(イ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(30)の記号にマークしなさい。

- A 大量の銀が流入したことによって、ヨーロッパの物価は高騰した。
- B このような銀の大量流入によって、西欧諸国の商工業は活発となった。
- C 固定地代で生活する領主は打撃を受けた。
- D エルベ川以東の東ヨーロッパ地域では、西欧諸国に穀物を輸出するために、資本主義的な農場経営が普及した。

問 4 下線部(ウ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(31)の記号にマークしなさい。

- A シモン=ボリバルは、1811年のベネズエラの独立宣言に参加した。
- B シモン=ボリバルは、1818年のチリの独立運動を指導した。
- C シモン=ボリバルは、1819年の大コロンビア共和国の樹立に成功する。
- D シモン=ボリバルは、1825年にボリビアの独立に貢献した。

問 5 空欄(2)に最も適した語句を下から一つ選び、解答番号(32)の記号にマークしなさい。

- A カウディーリョ
- B マクシミリアン
- C ディアス
- D ファレス

問 6 下線部(エ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(33)の記号にマークしなさい。

- A ビリヤなどの自由主義者が武装蜂起を呼びかけ、独裁政権を打倒した。
- B サパタは、土地改革や共有地の復活を主張した。
- C 最終的には、カランサ派が勝利した。
- D 1917年憲法で、強力な権限をもつ大統領制が定められた。

問 7 下線部(オ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(34)の記号にマークしなさい。

- A アメリカ大陸の諸問題について討議する国際会議である。
- B 1826年のパナマ会議に始まる中南米会議をアメリカが引き継いだ。
- C 事実上、アメリカの中南米外交展開の場となった。
- D 第一次世界大戦後、国際連盟に吸収された。

問 8 下線部(カ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(35)の記号にマークしなさい。

- A ハバナ湾内での米艦メイン号の爆沈事件が開戦の直接的な理由である。
- B アメリカがスペインに開戦し、一方的な勝利を得た。
- C この戦争の結果、フィリピン、プエルトリコ、ハワイのアメリカへの割譲が決定された。
- D この戦争の結果、キューバは事実上アメリカの保護国となった。

問 9 下線部(キ)に関連する説明として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(36)の記号にマークしなさい。

- A アメリカは、パナマ共和国からパナマ運河の工事権・租借権を獲得した。
- B ドミニカは、1844年に独立したが、1916年から24年までアメリカによる軍事占領を受けた。
- C ハイチは、1804年に世界最初の黒人共和国として独立したが、経済的困難からアメリカの干渉を受け続けた。
- D ウィルソン大統領の時、カリブ海を軍事的かつ政治的に制圧しようとするカリブ海政策が明確化する。

問10 空欄(3)に最も適した語句を下から一つ選び、解答番号(37)の記号にマークしなさい。

- A バティスタ
- B カストロ
- C ヴェルガス
- D ベロン

〔V〕 次の文章を読み、下記の設問(1～10)に答えなさい。

東アジアとは、地理的には、北はモンゴル高原、南はベトナム北部、東は朝鮮半島・日本列島、西はチベット高原によって画された地域を指す。その中心には中国があるが、以下では朝鮮半島に焦点を当て東アジアの歴史を考えてみよう。

東アジア世界の形成は中国における秦の成立とともに始まった。次いで前漢の時代に武帝は衛氏朝鮮を滅ぼし、朝鮮<sup>(ア)</sup>4郡を置いた。しかし高句麗は4郡の一つである楽浪郡を滅ぼし、朝鮮北部で4～6世紀に最盛期を迎えた。この時期は朝鮮南部の新羅、百済を加えて三国時代と言われる。

隋が中国を再統一し、唐が国際的にも繁栄すると、漢字・儒教・仏教<sup>(ウ)</sup>を特徴とする東アジア文化圏が成立した。新羅は唐と連合軍を組んで高句麗を滅ぼし、さらに唐を撃退して朝鮮半島の過半を統一した。半島北部から中国東北地方にかけては渤海国が支配した。しかし、907年の唐の滅亡にやや遅れて、926年には渤海国が、935年には新羅が滅び、東アジア世界は新しい変動の時期に入った。

中国が五代十国、北宋、南宋、元と変転を重ねるなか、東アジアの諸地域では自立化の動きが目立った。朝鮮半島においては高麗<sup>(エ)</sup>が唐、宋の制度や文化を摂取し、中央集権体制を確立して独自の文化を発展させた。高級官職は [ (1) ] という特権階層によって独占された。日本においては遣唐使の廃止とともに、国風文化が生まれた。また、南宋、高麗、日本の間には東アジア貿易圏が形成され、その後もさらに拡大していった。

元<sup>(オ)</sup>に代わって中国を支配したのが明である。明は1368年に成立したが、朝鮮半島においては朝鮮(李氏朝鮮)<sup>(カ)</sup>が1392年に建てられた。朝鮮は明・清とほぼ重なる500年ほど続いた。明・清は朝鮮・ベトナムなど周辺諸国と君臣関係を結び、 [ (2) ] 体制という国際秩序を形成した。

しかし、近代化を成し遂げた欧米の諸国がこの地域に現れるとともに、東アジア世界は列強を含んだ抗争の場<sup>(キ)</sup>となった。周辺諸国に対する中国の影響力は衰え、東アジアの国際関係は新しい様相を示すにいたった。

問 1 下線部(ア)に関連し朝鮮 4 郡として誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(38)の記号にマークしなさい。

- A 臨屯郡            B 真番郡            C 帯方郡            D 玄菟郡

問 2 下線部(イ)に関連する説明として最も適したものを下から一つ選び、解答番号(39)の記号にマークしなさい。

- A 高句麗が建てた広開土王碑には、百済・倭との交戦が記されている。  
B 隋の楊堅(文帝)は 3 回にわたる高句麗遠征に失敗した。  
C 新羅を助けるために出兵した日本水軍は白村江の戦いに敗北した。  
D 百済は骨品制という身分制度によって、社会を編成した。

問 3 下線部(ウ)に関連する説明として、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(40)の記号にマークしなさい。

- A 仏教は中国には紀元前後に東南アジア経由で伝えられた。  
B 禅宗と浄土宗は中国仏教の主流となった。  
C 慶州にある仏国寺は百済時代の仏教寺院として有名である。  
D 高麗版大蔵経は世界最古と言われる金属活字で印刷された。

問 4 下線部(エ)に関連する説明として、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(41)の記号にマークしなさい。

- A 高麗は王建(太祖)が建国した。  
B 高麗の首都は開城である。  
C 訓民正音(ハングル)が制定された。  
D 宋磁の製法を学んで、高麗青磁が作られた。

問 5 空欄(1)に最も適した語句を解答欄(104)に漢字で記入しなさい。

問 6 下線部(オ)に関連し東アジアの海洋世界の説明として、最も適したものを下から一つ選び、解答番号(42)の記号にマークしなさい。

- A 宋代の中国商人はダウ船を用いて、東シナ海・南シナ海で活動した。
- B 宋は広州・泉州などに理藩院をおき、海上貿易の事務を行わせた。
- C 明は海禁政策をとり、対外貿易は特許商人の組合である公行に限定した。
- D 中山王尚氏によって統一された琉球は明に朝貢して、中継貿易を行った。

問 7 下線部(カ)に関連し朝鮮の説明として、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(43)の記号にマークしなさい。

- A 朝鮮は李成桂(太祖)が建国した。
- B 朝鮮の首都は平壤である。
- C 豊臣秀吉の朝鮮侵略は李舜臣によって撃退された。
- D 朝鮮は朱子学を官学とした。

問 8 空欄(2)に最も適した語句を解答欄(105)に漢字で記入しなさい。

問 9 下線部(キ)に関連し当時結ばれたさまざまな条約の説明として、誤りのあるものを下から一つ選び、解答番号(44)の記号にマークしなさい。

- A 清は 1842 年にイギリスと南京条約を結び、香港の割譲、上海など 5 港の開港を認めた。
- B 日本は 1854 年に日米修好通商条約を結び、下田・箱館の開港を認めた。
- C 清は 1860 年にイギリスなどと北京条約を結び、開港場は天津など 11 港に増加した。
- D 朝鮮は 1876 年に日朝修好条規(江華島条約)を結び、釜山など 3 港の開港を認めた。

問10 下線部(ク)に関連して、下記の一連の事件①～⑤を古い方から正しい順番で並べたものを一つ選び、解答番号(45)の記号にマークしなさい。

- ① 韓国併合
- ② 大韓帝国と改称
- ③ 三・一運動(万歳事件)
- ④ 安重根が伊藤博文を暗殺
- ⑤ 甲午農民戦争(東学堂の乱)

- A ②⑤①③④
- B ②⑤③④①
- C ③②④⑤①
- D ⑤②④①③
- E ④⑤②③①